

平成 27 年度
事業報告書

公益財団法人国際平和機構

公1 環境教育事業

平成26年度度実施した「第3回国連防災世界会議パブリック・フォーラム」に関して、平成27年度はその継続会議を仙台市が主催することになり、財団事業として会議参加の予定で担当者と鋭意協議を重ねてきたが、内閣府より認定した業務と異なるとの指導を受けたため、先方宛て断りを入れて参加を中止した。

その後、モンゴルへの環境教育事業を検討するため、平成27年11月4日、札幌市において開催された「モンゴル北海道ビジネスセミナー」に参加中の、新モンゴル学校元校長、現理事長のガルバドラッハ氏と接触し、当財団事業の実施に関して協力を依頼し、その後、協議を重ねたが、平成27年度での事業実施には至らなかった。

新モンゴル学校に対しては、2008年、分別用のゴミ箱等を寄付した経緯があり、平成28年度事業として実施すべく、協議継続中である。

本年度実施した事業は、環境教育事業として、平成28年3月9日～11日ベトナム・ハノイで開催された The 3rd International Scientific Conference on Material Cycle and Waste Management (3RINGS)に参加し、「Analyses of a Waste Management Company Activities in the Great East Japan Earthquake」を発表した。

本国際会議は、ベトナムの Institute of Strategy and Policy on Natural Resources and Environment, Viet Nam Environment Administration, Department of Science and Technology, Ministry of Natural Resources and Environment が中心となり、日本の一般社団法人廃棄物資源循環学会や韓国、中国の廃棄物関係学会が共催したもので、約350人が参加した。

本会議は、適正な廃棄物の管理を促進して、Reduce, Reuse, Recycleの3Rの概念を広めることを目的とし、アカデミックな活動のためのプラットフォームとしての役割を担っている。(附属明細書1)

公2 文化交流事業

平成26年度実施した「ルーマニアの子どもたちの絵を届けるプロジェクト」、「日本海外留学生スピーチコンテスト支援」、「国際開発ユースフォーラム支援」については、本年度も実施する予定で、平成27年4月より各担当者と鋭意協議を重ねてきたが、内閣府より認定した業務と異なるとの指導を受けたため、先方宛て断りを入れて中止した。

また、当財団主催の文化交流フォーラムについては、鋭意検討したが、実施には至らなかったため、平成28年度も継続して実施に向けて検討を行う。

本年度実施した事業は、文化教育事業として

1. 平成27年10月10日～11日 「地域における観光と医療に関する北海道・台湾コンファレンス in 北見」に参加し、「観光ビッグデータを利用した観光構造モデルの構築」を発表した。

本会議は、北海商科大学開発政策研究所、北海道地域観光学会、北海学園東アジア観光研究プロジェクト研究会が合同で北海道北見市にある北海学園北見キャンパスにおいて開催したもので、医療関係者、日本と台湾との観光事業関係者が参加した。(附属明細書2)

2. 特別営利活動法人観光情報学会第12回研究発表会へ参加し、「観光における危機管理」を発表した。本研究会は、静岡県立大学において開催され、観光学研究者、観光事業関係者が参加した。(附属明細書3)